

# パラグアイ 日系農家が大豆寄贈

## 被災地に豆腐第一便

美濃加茂の会社

美濃加茂市の食糧輸入会社「ギアリンクス」(中田智洋社長)が、寄贈された大豆で作られた豆腐3500丁を、14日、中津川市の「ちこり村」から、東日本大震災の被災地の宮城、岩手県に第一便として送った写真Ⅱ。

寄贈された大豆は100丁。同社と親交のあるパラグアイ日本人会連合会から贈られたもので、同社は豆腐100万丁を被災地に送りたいとしている。同社は2000年、緊急時の食糧不足に備えるため県の協力で設立。8年前にパラグアイか

ら大豆を輸入し、現地の日系農家と親交を深めていた。同社によると、豆腐100万丁を製造するには4000万円が必要で、うち1000万円は同連合会が、残りは同社がいずれも募金活動で集める。豆腐製造も国内メーカーに協力を呼びかけ、豆腐は一部を販売し、売り上げは義援金に充てるという。

この日は、豊歳直之駐日パラグアイ大使や中田社長ら関係者約50人が出席。中田社長は「被災地支援と両国の友好に寄与していきたい」と述べた。また、

パラグアイ日本人会連合会から届いたメッセージも披露された。問い合わせは、同社の関連会社サラダコスモ(0573・66・5111)。

